



平成25年10月11日

	観光振興課
担当者	石井、吉田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成25年4～6月期における観光動向について、
別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する目的で、年1回公表の
「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施し、3ヵ月毎にその
結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



長崎県観光動向調査 (平成25年4～6月分)

主要指標

平成25年4～6月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H25-H24比較	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	162	1,067千人	+5.6%	+57千人
主要観光施設	26	2,181千人	+9.8%	+195千人

概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、ハウステンボスの集客がイベントの開催等で大幅に増加したことに加え、長崎市の夜景が世界新三大夜景認定されて以降、夜景観光が好調を維持していること、雲仙市でツアー客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体では対前年同期比+5.6%となった。

主要観光施設の利用者数は、100万本のバラ祭の開催等でハウステンボスの集客が大幅に増加したことに加え、大型連休期間中の天候に恵まれ、屋外施設を中心に集客が増加したこと、長崎ロープウェイの利用者数が増加したことなどから、4～6月期全体では対前年同期+9.8%と増加した。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されたことを機に、宿泊客の増加が続いていることや、大型連休期間中の天候に恵まれたことからなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+2.8%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

100万本のバラ祭の開催等によって、大幅な集客増となったハウステンボスを中心に、国内だけでなく、韓国、台湾、などアジア地域からの観光客が増加したことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+11.3%となった。

【平戸・松浦ブロック】

一部宿泊施設においてビジネス客の減少がみられたものの、個人客や、ツアー客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+4.8%となった。

【諫早・大村ブロック】

県立総合運動公園陸上競技場の工事が終了し、スポーツ大会の開催に伴う団体宿泊客が増加したことに加え、ビジネス客が増加したことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+5.6%となった。

【島原半島ブロック】

雲仙温泉で団体ツアー客の増加がみられたことや、大型連休期間中や梅雨の期間の天候に恵まれたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は、対前年同期比+5.7%となった。

【五島ブロック】

一部宿泊施設においてツアー客の増加がみられたことに加え、五島市で開催されたトリアスロン大会の参加者が増加したことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+2.7%となった。

【壱岐ブロック】

一部宿泊施設で団体客の減少がみられたものの、改装工事のため休業していた宿泊施設が営業を再開したことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+3.8%となった。

【対馬ブロック】

一部宿泊施設において団体客の減少がみられたものの、昨年大幅に増加した韓国人観光客が堅調に推移していることから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比1.6%となった。

(参考) 外国人宿泊客の動向 (ご協力いただいた施設のみのサンプル調査)

円高傾向の緩和もあり、韓国、台湾、香港などアジア地域からの観光客が増加したことや、ビジネス客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の外国人宿泊客数は対前年同期比+9.6%となった。

(参考資料)



